

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	盛岡・北上川ゴムボート川下り大会開催事業			事業コード	2262
担当課等	所属名	商工観光部 ブランド推進課	担当係名		
	課長名	商工観光部 ブランド推進課	担当者名	小原幹男	電話番号

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	活力ある産業の振興	コード 5	施策	地域資源をいかした観光・物産の振興	コード 4
	基本事業	観光地づくりと観光客の誘致	コード 1	関連予算 費目名	一般会計 7款 1項 3目 盛岡ブランド推進事業(010-01)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度 ⇒(開始年度 平成20年度～)					
事務事業の概要	<p>四十四田ダムから南大橋までの北上川約11キロをゴムボートで下るイベント。緑豊かな盛岡と北東北の拠点都市である盛岡を川から見ることが出来る。競技形式は競争しながら下るタイムレース部門とゆっくり自由の下るフリーレース部門、仮装や寸劇でPRするパフォーマンス部門がある。</p>					
根拠法令等						
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
昭和52年に北上川をきれいにしようとする市民の有志によって始められた。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
<ul style="list-style-type: none"> ・ボートは6万円～10万円程の購入費が掛かることから、レンタルボートを提供できれば参加者が増える。 ・団体レースの競技結果を大会当日に出してほしい。 ・安全対策の強化、実施判断基準の明確化。 						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどうか。今後の見通しはどうか						
<p>第34回大会において大会前夜の降雨・増水の影響により、大会の一部を中止したことから、安全対策の強化と中止部門への対応を検討する必要がある。</p> <p>東日本大震災の影響により、参加者の減少、実行委員会構成団体の拠出金や協賛金収入について減少が懸念されことから、支出経費の圧縮を大胆に行う必要がある。</p>						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	市民・観光客	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 市民の数	単位	万人
				B. 観光客入り込み数	単位	万人回
				C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	<p>22年度実績(22年度に行った主な活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界一のゴムボート川下り大会として、全国にPR活動を展開した。 ・団体レースの当日表彰を実施するため、必要なシステム改修を行った。 <p>23年度計画(23年度に計画している主な活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収入の減少が見込まれることから、宣伝広告経費の圧縮を図る。印刷物を削減し、ウェブ媒体を活用する。 	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 募集要項の印刷部数	単位	部
				B. 告知ポスターの印刷枚数	単位	枚
				C.	単位	
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	盛岡が有する水の恵みを活かし、自然に親しむ市民・観光客を増やす。盛岡の暮らしを支える水資源の大切さを理解してもらう。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 大会参加者数	単位	人
				【指標の性格: ● 上げる ○ 下げる ○ 維持する】		
				B. 観光客入り込み数	単位	万人回
				【指標の性格: ● 上げる ○ 下げる ○ 維持する】		
				C.	単位	
				【指標の性格: ○ 上げる ○ 下げる ○ 維持する】		
⑦結果 (上位基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するか)	訪れてみたいと思ってもらう	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	アンケート調査「盛岡に行ってみよう、訪れてみたい」と思う割合(単位: %)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	市民の数	万人	30	30	30	30	30	30	24年度 30
対象 指標B	観光客入り込み数	万人回	472	459	466	444	472	478	24年度 478
対象 指標C									年度
活動 指標A	募集要項の印刷部数	部	17000	17000	17000	17000	5000	5000	24年度 5000
活動 指標B	告知ポスターの印刷枚数	枚	1700	1700	1700	1700	500	500	24年度 500
活動 指標C									年度
成果 指標A	大会参加者数	人	2250	2336	2300	2304	1800	2300	24年度 2300
成果 指標B	観光客入り込み数	万人回	472	458	466	444	472	478	24年度 478
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	220	500	500	500	800	800	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	220	500	500	500	800	800	*****
	⑧その他	千円							*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	220	500	500	500	800	800	*****
	延べ業務時間数	時間	252	336	300	350	250	250	*****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	1,008	1,344	1,200	1,400	1,000	1,000	*****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	1,228	1,844	1,700	1,900	1,800	1,800	*****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由:盛岡に来なければ体験できない稀有なイベントであり、魅力と実施規模はまさに盛岡ブランドである。訪れてみたいと思ってもらう結果に結びついている。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由:ブランド開発事業の主要プロジェクトの一つであり、「価値あるもの」の価値を認識することや、その情報を整理し提供すべき場を設けることは、市が主体となって実施するべきである。
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input checked="" type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 現状で妥当である	↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他 理由:30年以上続いているイベントであるが、7割を盛岡市民が占め、9割を岩手県人が占める地域のイベントになっており、その価値について広く国内に知らしめる必要がある。
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input checked="" type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 現状で妥当である	↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> その他 理由:地域イベントから全国的なイベントを目指すことにより、水の恵みプロジェクトとして全国に盛岡ブランドを大きく発信できる。
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 向上余地がない	その内容:ギネス世界記録に認定され知名度の向上が見込まれることから、全国に向けて積極的に情報発信をすることにより、参加者と観光客の増加につながる。ただし、東日本大震災の影響により、23年度は参加者の増加を見込むことは困難である。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容:30年以上続いている大会であり、市民等に馴染み深いイベントとなっていることから、地域資源をいかした観光・物産の振興の後退を招く恐れがある。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input type="radio"/> 類似事業がある <input checked="" type="radio"/> 類似事業がない	事業名: _____ ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> できない 理由:
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を節減できる余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 削減できない	その内容:事業の大半を参加料収入と広告料収入、構成団体の負担金が占めている。東日本大震災の影響により、参加者の減少、広告料収入、構成団体負担金の減収が懸念されるため、支出経費を大胆に圧縮・削減する必要がある。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由:事務局として盛岡市が担当し、委託での事務処理を行っているものの、企画・運営は事務局の仕事であり、これ以上業務を委託することは出来ない。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由:参加には制限(下限年齢・健康上の問題)を設けているが、安全上の制限であり公平・公正である。
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由:東日本大震災の影響により、収入の減少が予想されることから、大会実施のためには参加料の値上げを検討

| 討する必要がある。 |

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革/改善方向	<p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1, 代替案その2とすること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災の影響で各種イベントの自粛の動きがあるものの、被害の少なかった内陸部から元気を発信するため、運営方法を工夫しつつ大会を実施する。 ・ギネス世界記録を達成し、大会のブランド価値を向上させる作業が一段落したことから、大会を継続・安定的に運営していくため事業の所管部署の変更について検討する。 <p>②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収入の減少が想定される。参加料の増額と支出経費の削減・圧縮を行い、収支バランスを確保しつつ事業を実施する必要がある。実行委員会内での意思統一と決断が求められる。 ・盛岡ブランド推進の一つと位置付け、これまで民間企業が担ってきた実行委員会の中枢機能を、盛岡市が引き受けた経緯がある。事業を効率的に運営する体制を構築するため、市組織内での調整が必要である。
---------	--

5. 課長意見

一次評価	<p>(1)一次評価者としての評価結果</p> <p>① 必要性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり :</p> <p>② 有効性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり :</p> <p>③ 効率性 ○ 妥当 ● 見直し余地あり :</p> <p>④ 公平性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり :</p>	<p>(2)全体総括(振り返り, 反省点)</p> <p>参加者の安全性の確保が困難なことから一部レースを取りやめたが継続を望む声は多く、経済の低迷による収入の減に応じた大会運営が必要とされる。</p>					
今後の方向性と改革改善案	<p>(3)今後の事務の方向性(改革改善案)</p> <table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="3"> <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 </td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> </tr> </table>		<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携					
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止						
<p>方向付けの理由と改革改善の内容</p> <p>経済の低迷による収入の減に応じた大会運営が必要とされ、支出の削減を図りながら、受益者の負担増も検討する。</p>							